



「村のすてき調査隊」に関川砂防出張所の役割を説明 ～関川小学校児童へ防災学習を実施しました～

6月30日、関川小学校「村のすてき調査隊」の児童4名が関川砂防出張所に来所されました。鉄塔や建物の役割など、児童の疑問について答えました。併せて国土交通省が取り組む砂防事業や土砂災害の恐ろしさを伝えるために、パネルや土石流模型実験装置を用いて説明しました。

児童からは、「土砂崩れがあった場合どうなるのですか」や「砂防堰堤に溜まった土砂はどうなるのですか」という子供ならではの素朴な質問が数多くありました。

また、「土砂で家が倒れるのを見て、土砂災害の怖さが分かった」という声を貰いました。

調査隊のみんなには、今回調べた結果をクラスの友達や家族に話してもらい、地域の防災についてもっと理解を深めてほしいです。

鉄塔は高さ約18mある
無線通信をする設備です



鉄塔説明

出張所では新潟県側の
工事監督をしています



出張所執務室案内

児童は初体験だったため、
何度も土石流模型実験
装置を動かしてほしいと
言われる程好評でした



土石流模型実験装置体験